

10月は乳がん検診啓発月間 もう見つけた? 「ピンクリボンコンテナ」



本日、空港のどこかで、
ピンク色のコンテナを目にした
方がいらっしゃるかもしれません。

10月は「ピンクリボン月間」。乳がん
の早期発見・早期治療の大切さを伝え
るための世界的な運動の推進月間です。
JALグループでは2023年度から、「乳が
んキャンペーン」の一環として、この運
動のシンボルカラーであるピンク色に塗
装した貨物コンテナを運用しています。

今年度からは、さらに啓発の輪を広
げようとピンクリボンコンテナを増産し、
国際線での運用もスタート。コンテナは

開始1カ月で

99フライト、14カ国、

26空港を飛び回りました。「ピ

ンクリボンコンテナを見かけた方が、乳
がん検診へ足を運ぶきっかけとなればう
れしいです」と、羽田貨物支店 国内貨
物部の藤原裕作は期待を寄せます。

この取り組みについて、「全くゼロか
らの発案で、さまざまな部署に働きかけ
て実現に至りました」と藤原。現在は、
施策にかける想いに共感した他部署の社
員が発起人となり、金属製ミニチュアコ
ンテナの製作や、帯広空港でのイベント
の実施などへと活動が派生しています。

空港にお越しの際は、貨物とたくさん
の人たちの想いをのせたピンクリボンコ
ンテナを、ぜひ探してみてください。
JALグループはこれからも、全ての人が
健やかに暮らせる社会の構築に貢献し
てまいります。S

※乳がんキャンペーンについては、
JAL SDGs REPORTでもご紹介しています。



ピンクリボンコンテナの 取り組み

2023年10月

国内線で4台の運用を開始。



2024年10月

- 小型機空港での啓発活動のため、ミニチュアコンテナを手作りで製作し、羽田・高松・小松空港で展示。
- 羽田空港でのお見送りイベントで登場。

2025年1月

JAL社内イベントで施策を紹介。
理念に共感した整備部門が金属製
ミニチュアコンテナの製作を開始。

2025年5月

- 国際線で本格的に運用開始。
国内線も運用拡大。
- 金属製ミニチュアコンテナが完成し、整備部門での啓発活動が始まる。
- 長崎空港50周年イベントで登場。



2025年7月

帯広空港でのお見送りイベントで
登場。



ピンクリボン
コンテナは
どこにある?

空港の駐機場や、国内で不定期に行われる空港イベントで見ることができます。ミニチュアのピンクリボンコンテナは、羽田空港と帯広空港のロビーに展示されています(帯広空港は10月まで。ほか今後展開予定)。